

年金者ぶんげい

俳句

春耕の時を奪うや今朝の雨
高槻支部 山本 穰

恋猫の柵渡りたる迅さかな
富田林支部 見田 三郎

ミモザ揺れジェンダー平等道遠し
平野支部 鶴田 時子

水温む声の弾みし家事作業
都島支部 松下ふみ代

神崎川の流れゆるやか浮寝鳥
西淀川支部 鳥井 久子

花守となりて憲法抱きしめる
和泉支部 安村 和義

義姉逝きて残りし句帳春さむし
岸和田支部 中川美智子

一蝶の融けたり野辺の花の中
高槻支部 内田 昭

川柳

使わんと退化しまつせ足と腰
高槻支部 中岡 章

市教委が「はだしのゲン」にケチをつけ
富田林支部 有川 功

物価にも異次元秘策欲しいなあ
堺東支部 堀西 和子

独り言大きな声で筒抜けに
堺北支部 南 正夫坊

国防と言いくるめる大増税
平野支部 おくだまさこ

異次元は軍事費のみが突つ走る
堺東支部 中村 一雄

鶴彬今の日本をどう詠むか
四条畷支部 佃 嘉夫

命より財政重視ら頼へと
東住吉支部 伊藤 一正

短歌

ヤンバルの玉辻山とふ低山の道に咲き居りサク
ラツツジが 高石支部 大西 博美

再びの春告げ鳥を訪ね行く啓蟄明けで黄蝶一頭
高槻支部 河田 玲子

生きゆくは老いゆくことと悟りたり否応もなく
待ちいるものを 堺北支部 大西 孝子

親友は一人で良いと思つても一人増えて喜び
倍増 堺東支部 西村 節子

ちひろの絵「戦火の中の母と子」がいま痛切に
胸に食い入る 吹田支部 小山ヤエ子

北方へ南方へと出征せし父は戦争聞けど語らず
枚方支部 国方 幸子

懐かしき友らみな逝きわれひとりすみにし町に
誰か語るべき 箕面支部 和田 稔

(文芸欄は編集部選。投稿や各支部発行の機関紙に掲載された作品を紹介しています)

思い出の映画・号泣した映画・もっいちど観たい映画



自転車泥棒

第二次大戦後のイタリア。混乱と貧困、将来への不安の中で懸命に生きる人々。主人公アントニオは妻と6才の息子の3人家族。永い失業の苦しい生活の中で、アントニオはやっと映画ポスター貼りの仕事を手に入れる。仕事には自転車が必要だった。妻も喜び、家にありつけたのシー

ラツツジが、再びの春告げ鳥を訪ね行く啓蟄明けで黄蝶一頭生きゆくは老いゆくことと悟りたり否応もなく待ちいるものを親友は一人で良いと思つても一人増えて喜び倍増ちひろの絵「戦火の中の母と子」がいま痛切に胸に食い入る北方へ南方へと出征せし父は戦争聞けど語らず懐かしき友らみな逝きわれひとりすみにし町に誰か語るべき

ツを質に入れ、自転車を質屋から請け出す。翌日、意気揚々と仕事に出るが、仕事の中にその自転車が盗まれる。が、警察は相手にしない。唯一の商売道具の自転車を息子と探しに街に出かける。その姿を通し、監督ピットリオ・デ・シーカは戦後イタリアの混乱の姿をリアルに映し出す。西部劇や時代劇など、それまでに観てきた多くの映画で、強く、運のいい主人公にはあらドキドキさせられながらも最

後はハッピーエンドで終わり、帰り道では主人公気取りで気持ちよく帰っていったものだった。しかし現実の甘くない厳しさを見せられた時、人々は何をどう感じるのだろうか。出演の父子は全くの素人を起用しネオ・リアリズムの存在を世界に知らしめたイタリア映画の秀作。私にとってもリアリズムとは何かを教えてくださいました。No.1の作品です。(1950年製作)

吹田支部 堀 健次